

## FAX 番号 ##

## 会社名 ## 介護予防事業ご担当者様

平成18年度独立行政法人福祉医療機構(WAM)高齢者・障害者福祉基金助成事業

「自立生活を可能にする・体に良い創動運動講演会開催事業」  
報告書ご提供のお知らせ

報告書は、機器導入に必要な経費が非常に安価な介護予防の実施マニュアルとして有効であると思われます。

ご希望のご施設様は封筒に500円分切手を同封の上、報告書希望と明記してお申し込みください。

自立社会構築のための機器普及プロジェクト(NPO 法人高齢市民が活躍するための社会技術研究会)は、WAMの助成を得て標記事業を実施いたしました。

全ての講演予稿を掲載したWAM提出用報告書に、若干の残部がありますので、ご希望のご施設へご提供します。

講師

牛澤賢二教授《産業能率大学(工学博士・統計学)》

“なおる”ということ、あなたはご存知ですか？  
統計的に“効果がある”とは？

牧田光代教授(新潟医療福祉大学)

タキザワ式リハビリの構成と福祉用具利用

滝沢恭子理学療法士(湘南健友会長岡病院)

どこでも・誰でも・いつでも簡単にできるリハビリ  
の実技指導と解説

木村哲彦教授(国際医療福祉大学)

地域リハビリの必要性について

白澤卓二分子遺伝学研究部長(東京都老人総合研究所)

人は120歳まで生きる。

高田 一教授(横浜国立大学工学研究院)

工学から見たリハビリ医学の革新

鈴木勝貴社長(鈴木運輸)

高齢に成っても元気に働いてもらいたい。

概要

可能な限り多人数の高齢障害者の日常生活が「介護・依存ではなく、自立する」ことを目指し、通所施設におけるリハビリテーション(リハビリ)実施について、導入が容易で、効率的なプログラム化創動運動のマニュアルを作成し、関連の学術研究について識者から講演を得ました。

これまでのご案内で250施設から送付のご希望があり、又実際を知りたいとのご連絡がありました。

創動運動講習会が第11回バイオフィリアリハビリテーション学会(横浜国立大学・2007年8月24~26日)に併設されます。(創動運動指導員資格準備中)ご希望の方はFAX又はE-mailで創動運動講習会資料請求と明記してご連絡下さい。

請求先： 自立社会構築のための機器普及プロジェクト

(NPO 法人高齢市民が活躍するための社会技術研究会が設立されました。会員募集中です。)  
会長 滝沢茂男(連絡先 バイオフィリア研究所)

251-0871 神奈川県藤沢市善行7-5-4 FAX 0466-81-8815

E-Mail takizawa@biophilia.biz

http://www.biophilia.biz/

事業後援 神奈川県社会福祉協議会・茅ヶ崎市・バイオフィリア リハビリ学会・  
茅ヶ崎社会福祉協議会・藤沢市社会福祉協議会 他